

ごあいさつ 「清く 正しく 明るく」

福島県立視覚支援学校の Web サイトにアクセスいただき、ありがとうございます。

本校は、明治31年に渋木重庵、高橋金七、長沢正太郎氏らのご尽力により、福島第一尋常高等小学校の一部に、私立福島訓盲学校として創立されました。昭和19年には、県立へ移管され福島県立福島盲啞学校に改称となり、その後数度の名称変更を経て現在に至っています。創立から125年目を迎えた今年度、新たに幼稚部が開設となり2名の幼児が入学いたしました。その幼児を含め、小学部・中学部・高等部（普通科・保健理療科・専攻科理療科）併せて24名が、「清く 正しく 明るく」の校訓の下、自立と社会参加を目指して日々の学習に励んでおります。

私たち教職員は、幼児児童生徒一人一人が、社会の一員として生き生きと自分らしく主体的に生きることができる力の育成を目指し、小中学校や高等学校等に準じた学校教育を行うとともに、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の国家資格の取得を目指した職業教育を行っています。

そのために、次の3つを重点として教育を進めてまいります。

- 1 「深い学び」の実現のための授業改善
- 2 「豊かな人間性と社会性」を育成するための体験活動や交流及び共同学習の推進
- 3 「心と体を守る力」をつけるための健康教育推進と関係機関との連携

私たち教職員は、幼児児童生徒一人一人がその持てる力を十分に発揮できるよう、常に研究と修養に努めながら日々の教育活動の充実を図ってまいります。

また、障がいによる学習上又は生活上の様々な困難に直面しても、それらを乗り越え改善・克服しようとする、しなやかな心の育成に努めてまいります。

さらに、乳幼児の養育・子育ての不安や、事故や病気によって見え方に不安が生じた成人の方の、自立と社会参加に向けた相談などにも応じてまいります。

今後とも、本校教育の更なる充実・発展に向けまして、ぜひ忌憚のないご意見をお寄せいただくとともに、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年4月

福島県立視覚支援学校長 郷家 俊哉